



MEBIC
CREATIVE NETWORK CENTER OSAKA

2017年1月19日

my home town
わたしのマチオモイ帖

News Release

『わたしのマチオモイ帖』新作展覧会(入場無料)、1月29日(日)まで好評開催中

1月20日、22日、24日、26日、29日 初の来場者参加型ワークショップ開催
コトバのプロに学ぶ、“おもいを届けるコトバ塾”
28日には、作者17名を招き、マチオモイサロン・スペシャルも開催

メールやSNSで簡単に言葉を交わせる時代だからこそ身につけたい、大切な人への気持ちの伝え方

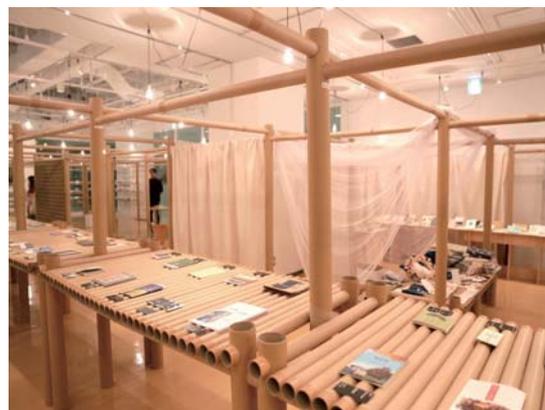
クリエイター支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」(所在地:大阪市北区 所長:堂野 智史、以下メビック扇町)では現在、「my home town わたしのマチオモイ帖」展覧会を開催しています。(わたしのマチオモイ帖制作委員会と共催、1月29日(日)まで)。

6回目となった本展覧会も会期中、様々なイベントを開催していますが、今回は初の試みとして、来場者参加型ワークショップ「マチオモイサロン～おもいを届けるコトバ塾」を開催。言葉のプロフェッショナルから、おもいの伝え方を学び、実際に大切な人へのおもいを書く時間を設けるもので、現在、参加者を募集しています。(詳しくは参考資料参照)

また、1月28日(土)には、今回新設のポストカード部門に出展した作家17名をゲストに招き、作品に込めた思いなどを聞くマチオモイサロン・スペシャルも開催します。

■大切な人に想いを届けるきっかけに

マチオモイ帖プロジェクトは、日本各地のクリエイターが、それぞれ思い入れのある町やそこに住む家族や周囲の人へのおもいを、冊子や映像に綴り、人々に届ける活動です。東日本大震災が発生し、誰もが足元を見つめ直した2011年に始まり、今では総作品数約1400帖にのぼります。今年は新たに、ポストカード作品を展示。マチオモイ帖が、来場者自身の大切な人におもいを届けるきっかけになることを願って、一人ひとりに作品を1枚進呈しています。



■簡単に人を傷つけ、逆に救うこともできる、コトバ

初の試みとなる、来場者参加型ワークショップは“おもいを届けるコトバ塾”と題し、普段から仕事として言葉を扱う、コピーライター、コマ漫画家、アナウンサー、シンガーソングライターなどが登壇、“想いの伝え方”を学びます。メールやSNSで簡単に「短い言葉」を交わせる昨今、言葉は簡単に人を傷つけ、逆に救うこともできます。素直なおもいを言葉にするコツや秘訣をプロたちから探り、実際に参加者がマチオモイカードに、大切な人へメッセージを書く時間を作ります。



2016年12月開催 おもいを届けるコトバ塾Vol.1
ゲスト:高田ほのかさん(歌人)

本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町 広報担当:松井
〒530-0025 大阪市北区扇町2-1-7 カンテレ扇町スクエア3F
TEL:06-6316-8780(平日10:00~21:30) FAX:06-6316-8781 e-mail:info@mebic.com
ホームページ: <http://www.mebic.com/>
マチオモイ帖プロジェクトに関する詳細情報は、以下を参照ください。
わたしのマチオモイ帖ホームページ <http://machiomoi.net/>

■今後のイベント一覧

◆マチオモイサロン～おもいを届けるコトバ塾◆ (添付チラシ参照)

- Vol.3 イラストレーター ハピネス☆ヒジオカさんの「コママンガとコトバ」
2017年1月20日(金)19:00～20:30
- Vol.4 「アイデアをコトバにして歌う with フォークユニット・ラムファン」
2017年1月22日(日)14:00～16:00
- Vol.5 アナウンサー植村なおみさんの上を向くことばと音声表現
2017年1月24日(火)19:00～20:30
- Vol.6 児島令子さんの「ひとりに伝えるボディコピー」
2017年1月26日(木)19:00～20:30
- Vol.7 シンガー寺前未来さんのメロディにのせるコトバ
2017年1月29日(日)15:30～17:00

参加費:500円(各回)

詳細・申込:わたしのマチオモイ帖フェイスブックイベントページ

会場:わたしのマチオモイ帖展会場内

進行:村上美香、山本あつし(わたしのマチオモイ帖制作委員会)、大西崇督さん(コピーライター)

◆マチオモイサロン・スペシャル◆

今回新設のポストカード部門出展者17名をゲストにお招きし、それぞれの作品に込められた思いをお伺いします。

日時:2017年1月28日(土)13:00～18:00(終了予定)

スケジュール&ゲスト(※ゲストや登壇順は変更になる場合があります)

《13:00～14:00》

たけやすせい子さん 「あべの帖」大阪府
宮窪翔一さん 「天満帖」大阪府
澤田健二さん 「坂町帖」大阪府
栗田真一さん 「日ノ岡坂脇帖」京都府

《14:15～15:15》

川瀬亘さん 「東花園帖」大阪府
たるいかおりさん 「楽音寺帖」大阪府
藤井香さん 「洲本帖」兵庫県
藤林朋実さん 「男木島帖」香川県

《15:30～16:30》

船本あやこさん 「大津帖」滋賀県
杉原恭子さん 「能登川帖」滋賀県
齊藤桃子さん 「二条城帖」京都府
Hisaki Design Worksさん 「豊里帖」大阪府

《16:45～18:00》

Re:US.気仙沼/石川武志さん 「気仙沼帖」宮城県
松尾由華(ふたりよがり)さん 「新宿都帖」東京都
サトウノリコ*さん 「伊万里帖」佐賀県
武永茂久さん 「荒尾帖」熊本県
たまごトラベルさん 「みなみやましろ村帖」京都府

参加費:無料(申込不要)

会場:わたしのマチオモイ帖展会場内

進行:山本あつし、二階堂薫(わたしのマチオモイ帖制作委員会)

◆マチオモイ展ファイナル「熊本・大分のみんなにおもいを届ける日」◆

今回の会場は、熊本地震の避難所等で、プライバシーを保つために活用された間仕切りシステムの資材(紙管と布)をリユースしてデザインされました。展示什器として使われた資材の一部は、4月に予定されている熊本・大分での巡回展へと旅立ちます。熊本の避難所からやってきた紙管に、マチオモイなメッセージを書いて送り出します。

日時:2017年01月29日(日)17:00-19:00

参加費:無料(申込不要)

会場:わたしのマチオモイ帖展会場内

■避難所用間仕切り資材『PPS4(Paper Partition System 4)』再利用の経緯

世界的な建築家 坂茂氏が考案した避難所用間仕切りシステムは、紙管と布で誰でも簡単に組み立てられるもので、カーテン布の開閉により避難所でもプライバシーを確保することができます。2011年の東日本大震災では、50ヶ所の避難所に1800ユニット(1ユニット=2m x 2m)の間仕切りシステムを坂氏が提供。本年の熊本地震発生時も提供されましたが、その後、避難所から仮設住宅に移り住む人が増えたことで、一定の役目を終えた紙管と布をリユースする話が浮上しました。熊本県の有志やデザイナーたちがプロジェクトチームを発足、先駆けとして、布をリユースした「のれん」を仮設住宅に贈る「PPS4+ NOREN project」がスタート。日本各地でのれんの作り手を募集し、メッセージと共に熊本に送り返してもらうもので、現在、300を超える作り手が集まっています。機を同じくして、紙管の再利用法も模索されていたところ、今回のマチオモイ帖展覧会の会場設営に活かされることになりました。

マチオモイ帖は、東日本大震災を機に「自分の足元にある町を見直してみよう」とスタートした展覧会です。今回は、熊本・大分の被災地をはじめ、一人ひとりが大切に想うマチやひとに「おもいを届ける」はじめての一步になる展覧会にしたいと考えています。



■「my home town わたしのマチオモイ帖-おもいを届ける冬-」概要(添付チラシ参照)

期間:2016年12月9日(金)~2017年1月29日(日) 平日:11:00~21:00 土日祝:11:00~19:00

会場:メビック扇町

入場料:無料

主催:大阪市

公益財団法人大阪市都市型産業振興センター クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町
わたしのマチオモイ帖制作委員会

協賛:株式会社モリサワ

協力:熊本県大阪事務所 / 株式会社ナッシュスタジオ / 富士ゼロックス大阪株式会社 /
矢橋徹建築設計事務所 / 内海慎一